



夏にかみなりはなぜ多いの

かみなりはかみなり雲から

夏の暑い日の午後、空高く、もくもくと大きな雲が成長しているのを見かけます。これは、積雲の1つが、積乱雲（かみなり雲）に発達したもので、夏の空によくできる現象です。

このかみなり雲の下では、雨が強くふり、光とともに、ゴロゴロとかみなりの音が聞こえてきます。

夏の強い日差しが原因

内陸や山がく地で、地表付近のしめった空気が、夏の強い日差しを受けて部分的にあたためられると、まわりの空気より軽くなり、どんどん上昇して雲ができます。この雲がさらに発達して、かみなり雲になるのです。

かみなりが夏に多いのも、このようにかみなり雲の発生しやすい、強い日差しのある日が多いからです。（監修 村山貢司）

